

ケース13 自転車条例

議員: 警察庁から、自転車は「車道の左側」を走行するように徹底する通達が出された。自転車専用レーンの設置など道路走行環境の整備を急げ。また、ルールやマナー違反等、本市として教育・訓練、講習、キャンペーンなどを通して、あらゆる無事故対策を打つ一環として「自転車の似合うまちづくり条例」の制定を望む。
(平成 23 年 12 月定例会 一般質問)

こたえ

市民生活部長:

交通事故をなくすため、行政、市民、事業者等が連携協力し、安心して自転車を利用できるまちづくり条例と思う。県や先進市の状況を参考に関係部局と連携をとりながら研究していく。

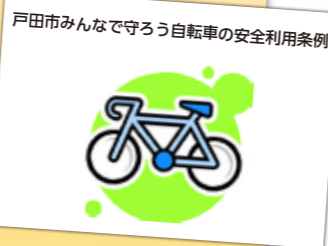
そして
議会で自転車条例を提出・可決
市は道路網整備計画を策定
自転車レーン整備を進めています

平成 24 年 2 月、市民生活常任委員会は年間活動テーマを「安心・安全のまちづくりに向けた自転車条例について」と定め、調査・研究を重ねた結果、同年 12 月定例会に委員会提出による議案として「戸田市みんなで守ろう自転車の安全利用条例(案)」を提出、議会において可決されました。

また、戸田市では、歩行者や自転車の安全な通行を目的に、平成 24 年度に「戸田市歩行者自転車道路網整備計画」を策定し、その計画に基づき、平成 25 年度から戸田第二小学校北側の道路や戸田駅西口交差点付近、笹目中学校周辺に自転車レーンを整備しました。今後も順次、整備を進めていきます。



▶自転車レーン(戸田第二小学校北側)



あれからの年!

あの質問はどうなった?

一般質問も、質問して、それっきりとなるわけではありません。担当部局で慎重に調査研究し、実現に至らなかったもの、成果が早く出てくるもの、10年・20年後に大輪の花を咲かせるものなど...



3回目の知つtocoクイズです。
6月定例会号を読んで、皆さんも応募してください。
なお、2問とも答えを書いていただくことと、住所は番地まで書いて応募してください。



クイズ ○に入る言葉は、なあに?

- 問1 議会改革が進んでいる戸田市議会の常任委員会の特徴は、「月1回の開催」と「○○活動テーマ」です。
- 問2 自転車の安全な通行のために、戸田第二小学校北側の道路や戸田駅西口交差点付近、笹目中学校周辺に自転車○○○を整備しました。

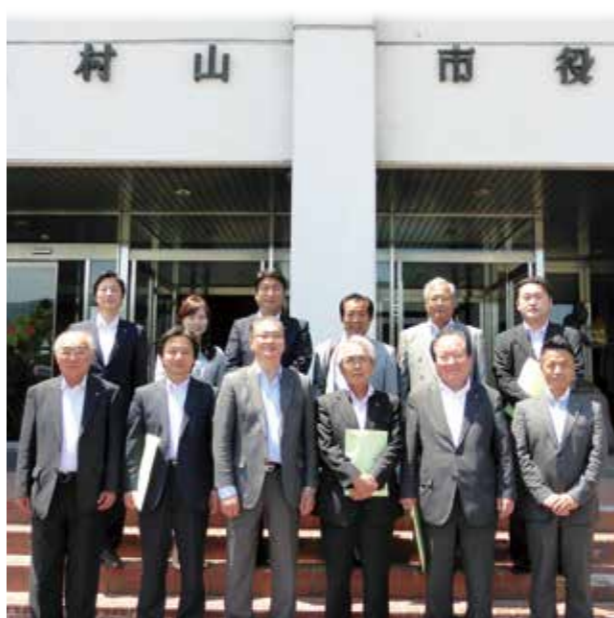
応募方法等
◆はがき、ファクス、メールのいずれかで応募してください。
◆クイズの答え、住所、氏名、電話番号、年齢、職業(学校名)、議会だよりの感想を書いてください。部分の記載は任意です。
◆正解者の中から抽選で5人の方に、クオカード(500円分)をプレゼントします。

あて先
【はがき】〒335-8588 戸田市上戸田1-18-1 戸田市議会事務局「知つtocoクイズ」係
【ファクス】048(433)2212 「知つtocoクイズ」係
【メール】gikaijimu@city.toda.saitama.jp
メールの件名は、「知つtocoクイズ」としてください。

◆締め切り 9月1日(火)必着

※ご記入いただいた個人情報は、目的(賞品の発送、当選者発表)以外には利用いたしません。

▶5月22日 村山市役所にて



町村議会広報全国コンクールで奨励賞を受賞した「おおいしだ議会だより」は、読んで

手に取って読んでもらえる
議会だよりを目指して

議会広報委員会

山形県大石田町・山形県村山市

議会だより視察レポート

もらえるか捨てられるかは表紙(表情豊かな写真)と2・3ページの見開き(両ページにまたがる写真、文字数を少なくして勝負が決まると強調し、また、インパクトある見出しに工夫をしていました。
「ぎかいだよりむらやま」の特徴は、議員で手づくりしたほうが市民に声が伝わるのではないかと、写真撮影から文章まで、全て編集委員会が担当していること、議論した結果、表紙に目次は要らないとの結論になったということです。
この視察を受け当委員会では、どうしたら市民に手に取って読んでもらえるかという観点から、まずは見出しについて工夫をしていくことにしました。